

第2回加盟店における不正利用対策の在り方等に関する検討会 議事要旨

日時：令和7年5月23日（金）16時00分～18時00分

場所：経済産業省 別館2階 231会議室

出席委員：

片岡委員、河野委員、近藤委員、須田委員、田添委員、中川委員、中島委員（矢沢代理）、
二村委員、福嶋委員、吉岡委員

議題：

1. 開会
2. 議事
 - （1）加盟店における不正利用対策の取組について
 - （2）不正利用リスクの考え方について
3. 閉会

議事概要：

- 全日本空輸株式会社、楽天グループ株式会社より、不正利用対策の取組について説明。
- 一般社団法人日本クレジット協会より資料2-3に基づき説明。
- 事務局より、資料2-4に基づき説明した後、委員による自由討議を実施。

自由討議：

○加盟店に求められる不正利用対策の考え方について

- ・ 不正利用リスクに応じた対策を求める方法（リスクベース）には、客観的な指標やよりどころとなる基準が明確でないという課題があるのではないか。
- ・ 例えば、リスクレベルに応じてどういう不正利用が顕在化しやすいかモデルケースを体系化する等の方法が考えられるのではないか。
- ・ リスクベースに曖昧さはあるが、これをやれば大丈夫という対策がない以上、やはりリスクベースというのが基盤にならざるを得ないのではないか。

○不正利用額／率に着目した取組みについて

- ・ 加盟店管理会社や国は、不正利用額と不正利用率に着目して加盟店に指導等を行っていくべきではないか。
- ・ 指導等を行うに際して、額と率を年単位で見るのか、月単位で見るのかによって、影響が違ってくるのではないか。
- ・ 不正利用の件数にも着目していく必要があるのではないか。

- どういう数字を目指していくのか目標を決めることも重要ではないか。
- 行政がどう対応できるかが重要であり、不正利用額や不正利用率の基準について厳密に論ずる必要はないのではないか。
- どう加盟店に向き合っていくのがよいかは、加盟店の規模や不正利用へのスタンスによってやり方が違ってくるのではないか。